

発行 車体発 12 第 296 号

2013年3月15日

2013年度（平成25年度）トレーラー国内需要見通し

日本自動車車体工業会トレーラ部会では、2013年度のトレーラー国内需要見通しをまとめたので発表します。

1. 2012年度のトレーラー総需要は5,480台・前年比88.3%になるものと見込まれる。主力であるコンテナ用タイプが、年度後半から長引く国内外の景気低迷により落ち込みが大きく、前年比65.1%となった。一方、その他特装系のタンク・ダンプタイプは復興需要、又、車載タイプは代替え需要として、前年比122.9%と増加した。総需要としては、前年度を大きく下回る見通し。
このレベルは、台数安定期である2005年度から2007年度の平均台数(約8,000台)比では68.5%である。
2. 2013年度については、世界景気の先行きが懸念されるものの、今後の国内景気回復への期待と、消費税導入による駆け込み需要に加え、継続した復興需要などが想定されることから、トレーラー総需要としては6,090台・111.1%と見込まれる。

・2013年度トレーラー国内需要見通し

年 度	2011年度	2012年度	2013年度	対前年比	
	(A) 実績	(B) 見通し	(C) 予測	2012年度 (B/A)	2013年度 (C/B)
合 計	6,207	5,480	6,090	88.3%	111.1%
形 状	コンテナ用	2,213	1,440	65.1%	124.3%
	バン	1,758	1,470	83.6%	113.6%
	平床・低床	1,268	1,380	108.8%	108.7%
	その他特装系	968	1,190	122.9%	95.0%

単位：台

(注) 日本自動車車体工業会でいうトレーラーとは貨物輸送用をいい、キャンピングトレーラー、ポートトレーラーなどは除く。

(本件の問合せ先) 日本自動車車体工業会 事務局：山田